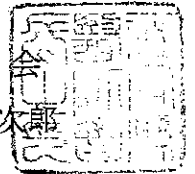


福岡医発第444号(地)

平成15年5月27日

各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会
会長 関原 敬次郎

重症急性呼吸器症候群（SARS）の初期の外来診療協力医療機関について

時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、貴職には日頃よりSARSのご心配をされている方々への診療等にご理解とご協力いただき誠にありがとうございます。

平成15年5月23日付（福岡医発第422号）「SARSの疑いのある者の初期の診療等について（SARS対策第15報）」でも、お知らせいたしておりましたが、「疑い例」が疑われる患者さんにつきまして、本会では各保健所と連携のうえ、外来感染予防体制の整った医療機関で初期診療を行える体制を確立する方向で、各保健所ごとに最低1カ所“協力医療機関”を選定するよう県行政と検討中であります。

つきましては、貴職におかれましても本件につきましてご了知いただきますとともに、県行政より協力依頼がありました場合は、本件の重要性を鑑み、ご協力いただきますよう貴会管下医療機関等へのご高配方よろしくお願い申し上げます。

なお、明らかにSARSの定義と合致しない患者さんにつきましては、引き続き会員の医療機関で対応いただきますよう併せてお願い申し上げます。